



乾隆帝に咲き誇り

西太后に光り輝く王朝の美

日中国交正常化 40 周年記念

地上の天宮

北京・故宮博物院 展

The Palace of Heaven on Earth: Works from the Palace Museum in Beijing

福岡市美術館 2011年 [平成23年] 10月18日 [火] — 11月23日 [水・祝]

ラスト・エンペラー 薄儀が失った紫禁城。
それは地上に現れた最後の天宮だった。





《慈禧太后便服像》西太后的肖像画／清



《鍍金点翠珠石鳳簪子》
清代の后妃が慶祝の日にかかる髪飾り
清・嘉慶年間

日中国交正常化40周年記念

地上の天宮 北京・故宮博物院展

明時代以降の歴代皇帝のうち、24人の皇帝が居住した北京・故宮博物院(紫禁城)に所蔵されている明・清両宮廷ゆかりの絵画、工芸、服飾、宝飾など、日本の「国宝」に相当する国家一级文物を含む名品約200点を通して、中国宮廷文化の精髓を紹介します。本展では、儒教思想を背景とした女性の徳と教育をテーマに描いた故宮秘蔵の南宋時代の名画《女孝経図》巻を海外初公開するほか、西太后の自筆の書画や珍妃ゆかりの品、皇帝が子ども時代に使用した生活用品など貴重な品々を展示します。故宮に生きた女性たちの知られざる波乱万丈の生涯とそのまなざしをテーマに、彼女たちの鮮烈な生の輝きに照らされて、浮かび上がる「地上の天宮・紫禁城」の魅力をお伝えします。



《明黄色緞 繡彩雲金龍文 女夾朝袍》(部分)
皇后の礼服／清・嘉慶年間



《水晶玉柄五珠大平車》
水晶製のマッサージローラー／清



《面磁華八棱開光 提梁壺》
七宝で描かれた八角形の提げ手付き水注
清・乾隆年間(国家一级文物)



《女孝経図》巻／女性たちの立ち振る舞いを描写した南宋絵画の名作／
【賢明章】(部分)／南宋(国家一级文物)



清朝宮廷の食器セット(展示イメージ)

表面：左から《鳳儀紀行楽図》軸(部分)／清、《粉彩花卉凸三嬰戲鴨》／清・乾隆年間(国家一级文物)、
《慧賢皇貴妃朝服像》軸(部分)／清、《金鏤珠宝帽頂》(部分)／清、《鳳儀紀行楽図》軸(部分)／清、
《銅鍍金嵌珞珈轉輪荷花紅鐘》／清・乾隆年間
写真：紫禁城の北の出口、神武門側より見る故宮全景 ※作品はすべて北京・故宮博物院蔵

開館時間 午前9時30分～午後5時30分

休館日 月曜日 ※ただし、入館は午後5時まで

観覧料 一般：1,100 (900) 円
高大生：800 (600) 円
小中生：500 (300) 円

※()内は前売り、20名以上の団体およびシルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳持参者の割引料金

【前売券販売】2011年8月20日(土)から発売。ローソンチケット(Lコード81675)、チケットぴあ(Pコード764-792)、セブンイレブン(セブンコード012-486)、イープラス・ファミリーマート、JTB各支店、JTBトラベランド各店・JTB総合提携店ほか主要ブレイガイドで発売。

※展覧会開催中は当日料金での発売となります。

福岡市美術館 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL.092-714-6051
http://www.fukuoka-art-museum.jp/

- 地下鉄
 - 空港線／福岡空港駅から15分、博多駅から10分、天神駅から5分で大濠公園駅下車、3・6番出口より徒歩10分。
 - 七隈線／天神南駅から8分で六本松駅下車、2番出口より徒歩10分。
- 車
 - 福岡空港から30分、博多駅から20分、天神から10分。
 - 駐車場(有料)に限りがあります。公共の交通機関をご利用ください。
- バス
 - 博多バスターミナル3階のりばより[系統番号13]で城内・美術館東口下車、徒歩3分。または[系統番号12・113・114・200・201・202・203・204]で赤坂3丁目下車、徒歩5分。
 - 天神から、天神橋和ビル前より[系統番号13・140]で城内美術館東口下車、徒歩3分、[系統番号12]で赤坂三丁目下車、徒歩5分、天神警固神社・三越前より[系統番号6・7・113・114・と200番台のバス全て]で赤坂三丁目下車、徒歩5分、[系統番号6-1]でNK放送センター入口下車、徒歩3分。



◆主催：福岡市美術館、西日本新聞社、TVQ九州放送、テレビ西日本 ◆後援：外務省、文化庁、中国文化部、中国大使館、中国駐福岡総領事館、福岡県、福岡県教育委員会、(財)福岡市文化芸術振興財団、西日本リビング新聞社、cross fm、FM FUKUOKA、LOVE FM、西日本鉄道、九州旅客鉄道、福岡商工会議所、一般社団法人日本自動車連盟福岡支部、(社)福岡市タクシー協会、一般社団法人日本旅行業協会九州支部、西日本文化サークル連合、西日本新聞 TNC文化サークル ◆特別協力：北京・故宮博物院 ◆協力：NKエデュケーション、ヤマトロジスティクス ◆企画協力：興山美術社 ◆企画：東京富士美術館